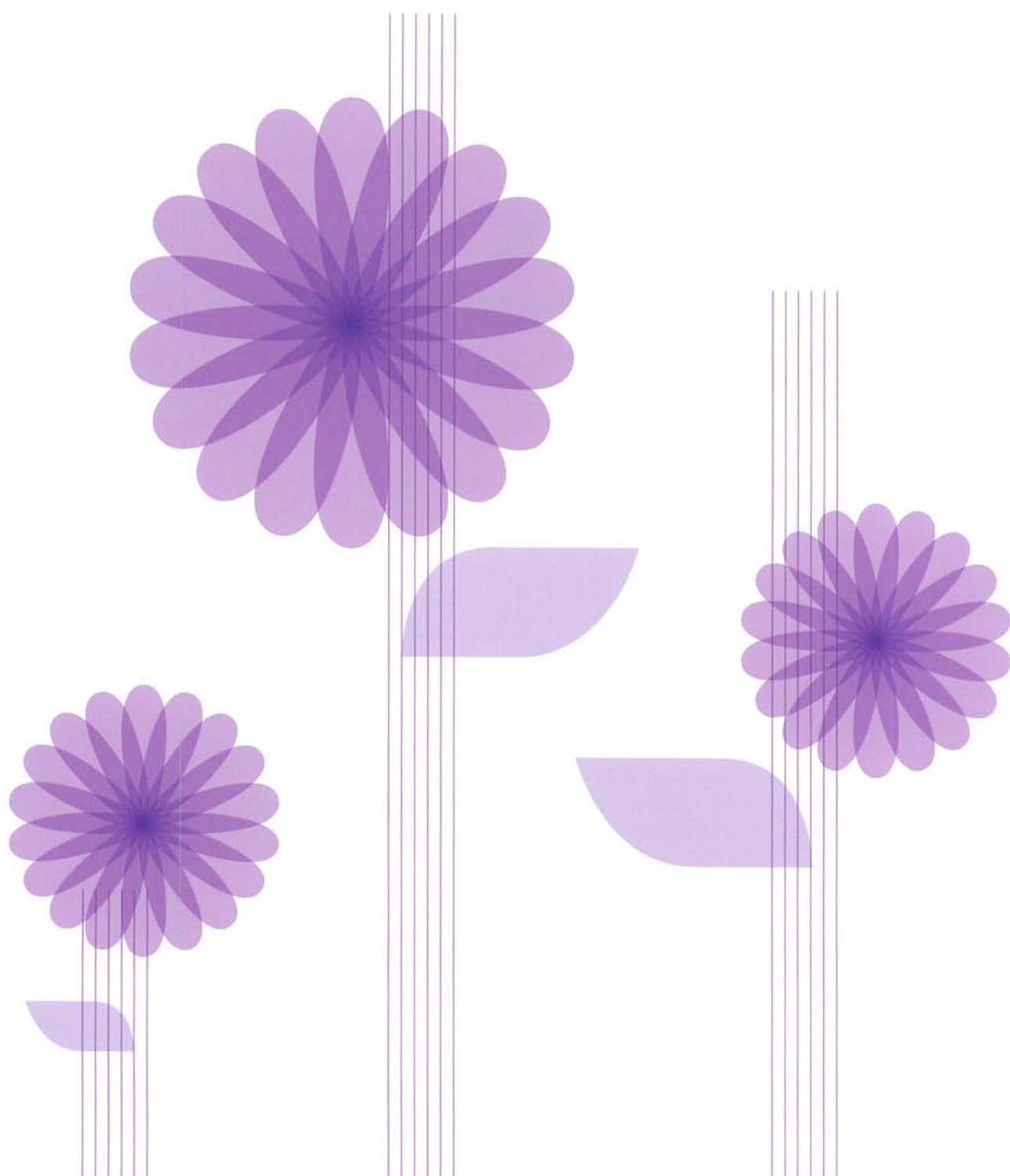



男女共同参画キャリアデザインラボラトリー 平成23年度事業報告書

やる気に応えます 金沢大学女性研究者支援

Career Design Laboratory for Gender Equality





やる気に応えます 金沢大学女性研究者支援

女性研究者を増やすとともに女性が活躍できる支援策を積極的に展開し、男女共同参画支援モデルの開発を行っています。

学長

中村 信一

Shinichi Nakamura

本学は、平成13年度から男女共同参画推進委員会を設置し、「男女が働きやすい職場環境の実現」、「金沢大学人材バンクを始めとする情報発信および情報交換の場の提供」、「多様なキャリアパスの創出」、「講演会やイベントなどの広報・啓発活動」を柱とした具体的な支援策を積極的に展開してきました。平成20年度から3年間は、文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」に採択され、それら事業において築いた成果をもとに今年度は学内事業として男女共同参画の取り組みを実施してきました。

大学における教育や研究の活性化のためには、多様な人材の参画は言うまでもありません。性別や国籍、年齢など様々な人々が存在する環境からこそ、豊かな創造性が生まれ、より質の高い発想が湧いてきます。大学の女性教員や研究者が能力を発揮できる環境を整えていくことは重要な課題であると認識しています。今後も引き続き、全学の男女共同参画を推進し、「男女がともに輝ける大学」を目指してまいります。



CONTENTS

- 3 数字で見る金沢大学の現状
- 4 女性研究者の研究支援
- 5 キャリアパスの創出
- 6 人材の育成
- 7-8 Beauty in Science,
Technology and Engineering
写真展
- 9-10 第4回女性研究者支援
シンポジウム
- 11-12 女子学生の支援
- 13-14 人材サロンWIL
(Women-in-link)

キャリアデザインラボラトリー長 池本 良子

Ryoko Ikemoto

平成20-22年度女性研究者支援モデル育成事業「やる気に応えま
す金沢大学女性研究者支援」は、女性研究者支援のためのしくみを作
るという当初の目的をほぼ達成し、文部科学省からもA評価をいただく
ことができました。女性研究者支援の中核を担う男女共同参画キャリアデ
ザインラボラトリーの事業も軌道にのり、平成23年度より新たな体制でス
タートしたところです。男女共同参画、ワークライフバランスという言葉が
耳馴れてはきましたが、大学における男女共同参画は、始まったばかりで
す。まだまだ、課題は多く残されています。キャリアデザインラボラトリーは、
皆様のご意見を伺いながら、男女がともに教育研究をささえる大学づくり
をめざして、今後も様々な取り組みを展開してまいりますので、皆様方
のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

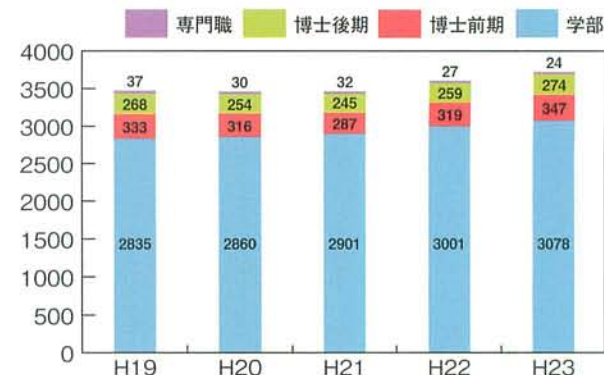
数字で見る金沢大学の現状

本学の女性教員数は徐々に増大し、平成23年の女性研究者比率は17.6%、女性教員比率は14%です。一方、女子学生数も徐々に増加し、平成23年度の女子学生割合は、学部生38.4%、博士前期課程24%、博士後期課程29%となっています。

女性研究者比率の推移



女子学生数の推移



事業概要

キャリアデザインラボラトリーでは、本学における女性研究者支援のための研究環境の整備、次世代女性研究者を魅了するための研究制度の構築、その他卓越した女性研究者を育成するための啓発・広報活動を行うことにより、男女共同参画社会の実現を目指しています。

Activity 1 人材サロンWIL (women-in-link)
 金沢大学人材バンクの作成・運営、及び人材サロンWILの運営を行なっています。

Activity 2 働きやすい職場環境へ
 子育て中の研究者が、研究を中断することのないように支援するとともに、外部資金を獲得できる自立した女性研究者の増加をめざします。

Activity 3 広報・啓発活動
 講義を実施するほか、シンポジウム・講演会・研究会・イベントの開催、女子中高生を主な対象とした理系進路選択のためのサポートを実施しました。

Activity 4 多様なキャリアパスの創出
 キャリアパスをバラエティに富んだものにするによって、これまで研究職を視野にいれていなかった女性を引きつけ、研究者数増につなげました。

ラボラトリー教員

- 理工研究域環境デザイン学系 教授……………池本 良子
- 留学生センター 教授……………八重澤 美知子
- 人間社会研究域歴史言語文化学系 教授……………古畑 徹
- 医薬保健研究域保健学系 教授……………稲垣 美智子
- 環日本海域環境研究センター 教授……………中村 浩二
- 環日本海域環境研究センター 准教授……………長谷部 徳子
- 理工研究域機械工学系 教授……………坂本 二郎
- 総合メディア基盤センター 教授……………笠原 禎也
- キャリアデザインラボラトリー 特任助教……………平山 奈央子



女性研究者の研究支援

研究パートナー制度

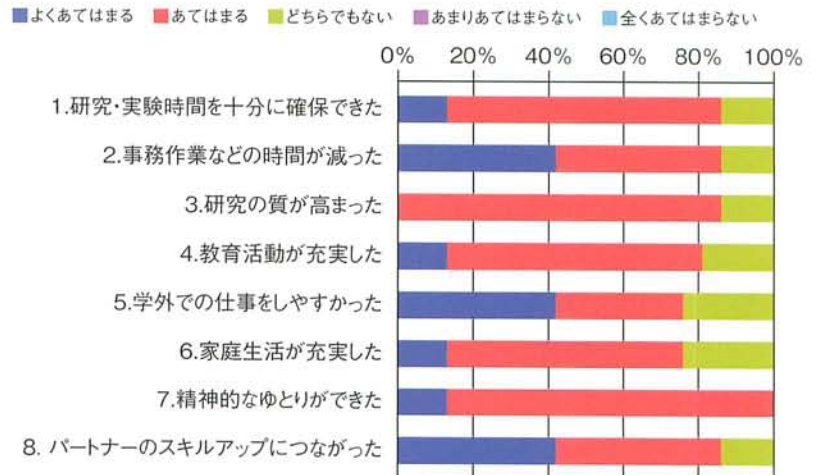
研究パートナー制度では、研究と出産・育児、介護等を両立して研究活動を行う研究者を支援するために、研究データ解析や学会発表資料作成、実験補助、文献調査、統計処理等の研究をお手伝いする研究パートナーを派遣しています。この制度では、研究パートナーを研究員として雇用し、パートナー自身のキャリアアップも目指しています。また、女性教員だけではなく、過去に育児休業を取得したことのある男性教員も申請対象としており、育児や介護を家庭内で分担することもすすめています。

平成23年度の実績

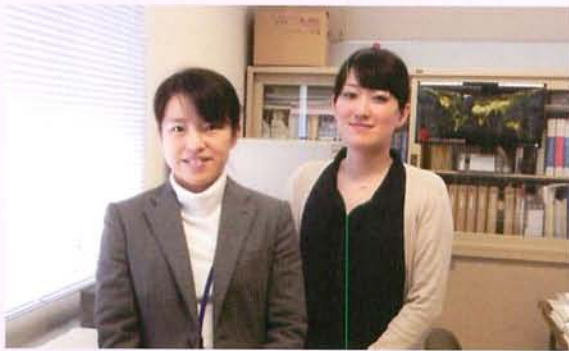
【前期】 制度利用者7名、研究パートナー6名

【後期】 制度利用者7名、研究パートナー7名

研究パートナー制度に対するアンケート回答結果(H23年度前期)



効果



左:柿川先生、右:城ヶ端さん

環日本海域環境

研究センター 助教 研究パートナー

柿川 真紀子 城ヶ端 朋子

研究パートナーには実験データ(DNA配列)の整理や国際塩基配列データベースを使用したDNA配列比較解析、文献調査、実験機器のメンテナンスなど幅広くサポートしていただきました。特に、細かいデータ解析を正確に行っていただき、大変助かりました。私は子供もいるので研究に使える時間が限られていますが、研究パートナー制度の支援により、実験時間を確保することができ、より研究を進められるようになりました。



左:丸山さん、右:関谷先生

医学系研究科

保健学専攻 助教 研究パートナー

関谷 暁子 丸山 慶子

研究パートナー制度を利用することになって以降、実験廃液や試薬、消耗品類の在庫管理などをパートナーに一任できるようになり、煩雑な事務作業に費やされる時間が大幅に減りました。おかげで、研究や教育活動など、教員としての本来業務への時間が以前よりも確保しやすくなりました。もちろん、パートナーは優れた研究者でもありますので、実験の補助ばかりではなく、相談相手としても大いに助けてもらっています。7月に京都で開催された国際血栓止血学会では、私もパートナーも発表することができました。これからも研究の良きパートナー、そして良きライバルとして互いを高め合っていける関係でありたいと思います。

キャリアパスの創出

若手女性研究者支援

若手女性研究者支援では、博士号取得後、自ら研究費を確保して研究活動を行っている優秀な若手女性研究者を有給非常勤研究員として雇用しています。その結果、女性研究者が将来、研究者として職を得るためのステップアップとして有効に活用されることを目指しています。

平成23年度の実績

【前期】 1名 【後期】 1名

■ 効果



自然科学研究科附属

未来創造研究支援センター 博士研究員 須山知香

本年度中は、前年度に加えて新たな科研費を得ることが出来たため、二つの科研費研究チーム員+所属研究室のポスドク員として、充実した研究活動を行うことができました。しかし、自然科学研究科での本来の所属は無給のポスドクであることから、日頃の研究生活にはかなりの経済的困難が生じているところでした。そのような状況の中、キャリアデザインラボラトリーへ博士研究員として雇用して頂く機会に恵まれ、研究活動を継続する上での経済的困難が緩和されると同時に、精神的にも大変な励みとなりました。

そして、研究・教育分野での求職を続けた結果として、この度、岐阜大学教育学部への採用が決まりましたこと、心よりお礼申し上げます。

キャリアアップの実践



人間社会環境研究科
客員研究員

俵 希實

ラボラトリーでの仕事内容はプロジェクトオフィサーということで研究とはまったく異なり、勤務期間も9ヶ月という短い期間でした。しかし、勤務したことによって思わぬ展開がありました。「ジェンダー」「男女共同参画」というテーマでの講義、講演の対応が可能となり、それによってネットワークが広がったこと、これまで接触のなかった他分野の研究者と関わることで自分の考え方に幅ができたこと、大学における事務作業や交渉の能力があがったことなどです。さらに、この4月から初めて正規雇用の大学教員として働くのですが、ラボラトリーで特任准教授として勤務していたことから、そのキャリアが評価され教授でスタートすることとなったことを挙げるができます。ラボラトリーでの経験をいかして女性研究者の1人としてがんばります。



自然科学研究科
博士後期課程

糸野 妙子

私は一般企業から転職し約2年半の間、特任助教として「女性研究者支援モデル育成」事業の運営に携わりました。この事業は私にとって研究職における男女共同参画の現状、そして女性研究者のロールモデルを学ぶ機会にもなりました。平成23年度博士後期課程に入学し、現在は学生として地球科学の研究を行っています。研究テーマと男女共同参画キャリアデザインラボラトリーの業務に直接の関連はありませんが、在職中の事業運営や授業等の経験は研究活動に活かされています。今後も視野を広くもちながら、スキルアップを目指します。



❖ 人材の育成

● 共通教育における2つのジェンダー関連講義の開講

【前期】

理系のジェンダー学(金曜4限)

- 理系女性研究者に関する統計および金沢大学の現状
- 金沢大学の女性研究者
- 野外調査を伴う研究活動と女性研究者
- 大学院への進学について
- 家庭生活と仕事の両立
- 理系の教育と就職

【後期】

ジェンダー学実践編(金曜4限)

- 女性と社会進出
- 日本における男女共同参画の現状と課題
- トルコ・スイス・イギリス社会にみられるジェンダー問題
- ファミリーネームの歴史
- 男女共同参画に関する意識—石川県民意識調査から—
- (学外)「若者の男女共同参画シンポジウム」への参加

● 進路相談窓口の開設

女性研究者・女子学生による研究成果の写真展(Beauty in Science)やオープンキャンパスなどで、理工進学を考えている女子高生のための進路相談窓口を開設しました。



進路相談の様子

● 高校への出前授業

3月5日愛知県立松蔭高校で出前授業を行いました。「リケジョ(理工系女子)と学ぶ地球・環境・安全・資源」と題して環日本海域環境研究センター・長谷部 徳子により、37人の参加者に対して理系選択支援を行いました。理工系分野では女性が求められていることや、地球科学の分野では未知の領域に挑むフロンティアサイエンスが研究されているとともに、環境・災害・資源など、安全なより良い生活に直結する学問分野であることを紹介しました。



● ふれてサイエンス&てくてくテクノロジーの 実験ブースの設置

「元素を利用した地球科学:粘土と年代測定」と題して、岩石中の放射性元素や、ウランの自発核分裂により鉱物中に生じた傷を利用した年代測定法の紹介、液体状になったり固体状になったりするおもしろい粘土の性質を紹介しました。



● 理工学域女子学生向けパンフレットの作成協力

理工学域のパンフレットで女子学生を積極的に取り上げ、進路選択の参考になるよう、協力しました。



Beauty in Science, Technology and Engineering 写真展

●ふれてサイエンス&てくてくテクノロジー

ふれてサイエンス&てくてくテクノロジーにおいて、研究の際に見つけて美の一瞬をおさめた写真展、「Beauty in Science, Technology and Engineering」を開催しました。

今年度は、金沢大学創基150周年記念事業の一環として、金沢大学の女性研究者の歴史も紹介しました。学内外様々な方々が来場し、来場者は400以上におよびました。特に学生のフレッシュな視点が放つ、印象的な写真が目を引きました。来場者による投票の結果、安田奈央さんの「漆黒の溶岩大地」がもっとも人気を集めました。安田さんには、中村信一金沢大学長から、学長賞として賞状と学長が丹精こめてつくった小豆が贈られました。

取り組みを通して、参加者の方々に理学・工学研究と女性研究者を身近に感じてもらうことができました。

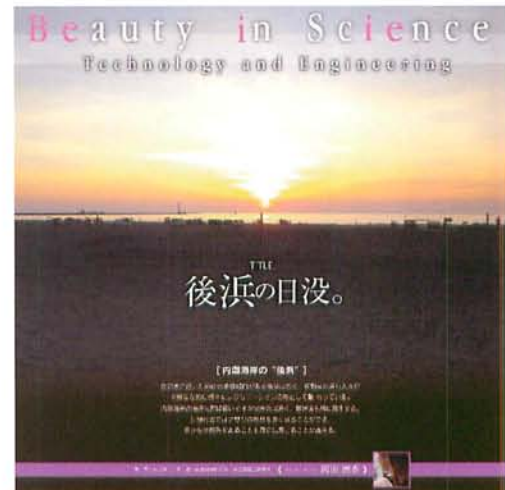
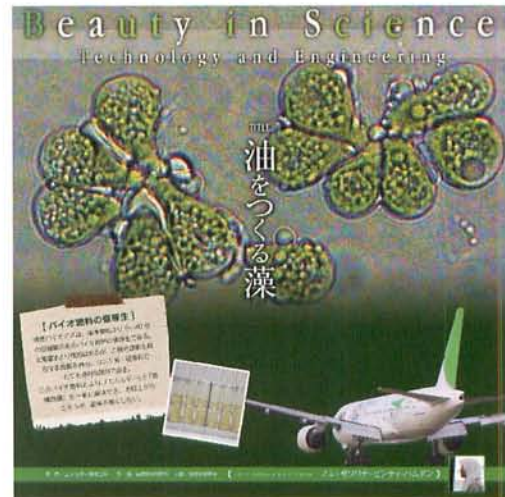
【開催日時】 2011年11月5日(土) 10:00~16:00

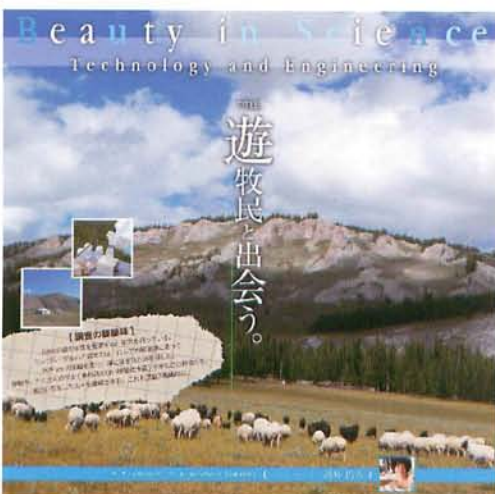
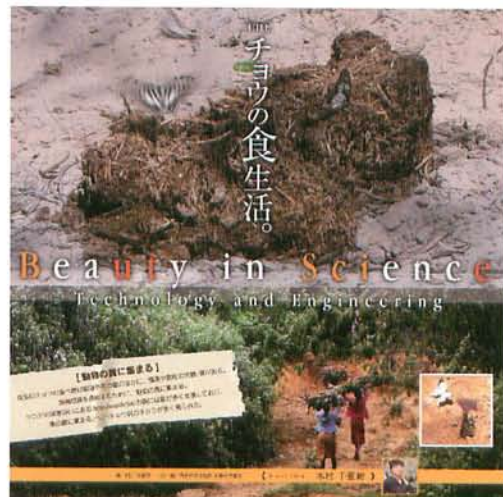
【開催場所(写真展・相談窓口)】

金沢大学自然科学本館G2階エントランス



左:安田さん、右:学長





Beauty in Science
Technology and Engineering



●創基150年
記念事業と連携

大学祭での写真展 (Beauty in Science) を金沢大学創基150年記念事業として実施しました。

●その他の写真展の開催

その他の会場として、オープンキャンパス・ふれてく・図書館・サテライトプラザ・石川県庁などでも展示を行いました。

第四回女性研究者支援シンポジウム

「女性の活躍を支える企業と大学」をテーマとして、第4回女性研究者支援シンポジウムを開催しました。株式会社東芝 人事部 人材採用センター主務の水上朋子様には「東芝のダイバーシティ推進」について、株式会社PFU人事部採用センター長の山本佳伸様には「女性がいきいきと働くために～PFUの取組み」について、ご講演をいただきました。また、金沢大学総務部人事課薄井課長には「金沢大学における男女共同参画への取組みについて」ご紹介いただきました。学内外からの約60名の参加者にとって、女性が出産、育児、介護と仕事が両立できるような職場の環境づくりについて、また、女子学生には自分自身の働き方について考える機会となりました。

【日時】 2011年12月7日(水) 15:00～17:00

【場所】 金沢大学自然科学図書館棟 1階 大会議室

開催概要

【開会挨拶】 金沢大学長 中村 信一

【主旨説明】 男女共同参画キャリアデザインラボラトリー長
池本 良子

【講演】 水上 朋子

(株式会社東芝 人事部 人材採用センター 主務)
「東芝のダイバーシティ推進」
山本 佳伸 (株式会社PFU 人事部 採用センター長)
「女性がいきいきと働くために～PFUの取組み」
薄井 賢次 (金沢大学 総務部 人事課長)
「金沢大学における男女共同参画への取組みについて」

【質疑応答】

【開会挨拶】 男女共同参画キャリアデザインラボラトリー教員
八重澤 美知子

【主催】 金沢大学男女共同参画キャリアデザインラボラトリー

【共催】 金沢大学理工系女子大学院生支援WG

第4回金沢大学女性研究者支援シンポジウム

女性の活躍を支える企業と大学

企業や大学における女性の活躍の場が広がっています。特に、科学技術や学術の分野においてもいっそうの活躍が期待され、出産、育児や介護と仕事が両立できるような職場の環境づくりが求められています。本シンポジウムでは、女性の研究を支える為に、どのような仕組みが必要か、企業等の取り組みを参考に考えてみます。

日時：平成23年12月7日(水) 15:00～17:00

場所：金沢大学自然科学図書館棟
1階 大会議室

対象者：教職員・学生・一般の方
(女子学生の参加を期待します。特に理工系女子学生は奮って参加下さい。)

定員：100名

◆◆ プログラム ◆◆

15:00～15:05 開会挨拶 金沢大学長 中村 信一
15:05～15:10 主旨説明

講演
15:10～15:50 株式会社東芝 人事部 人材採用センター 主務 水上 朋子
15:50～16:30 株式会社PFU 人事部 採用センター長 山本 佳伸
16:30～16:45 金沢大学 総務部 人事課長 薄井 賢次

16:45～17:00 質疑・応答
17:00 閉会

●●● 申し込み/お問い合わせ先 ●●●

金沢大学男女共同参画キャリアデザインラボラトリー

電話：076-234-6907

e-mail：cd_lab@adm.kanazawa-u.ac.jp

主催：金沢大学男女共同参画キャリアデザインラボラトリー / 共催：金沢大学理工系女子大学院生支援WG



質疑応答の様子



(株)東芝の取組みを講演する水上朋子氏



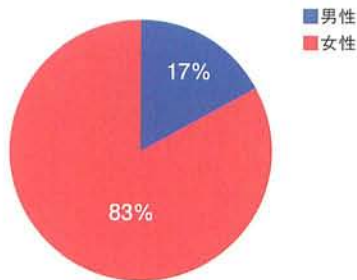
(株)PFUの取組みを講演する山本佳伸氏



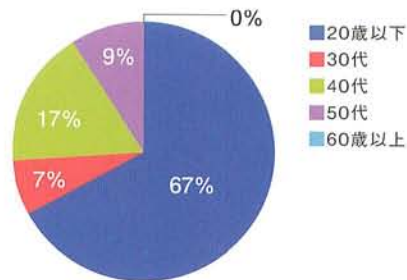
■ アンケート回答結果

1. 参加者の属性

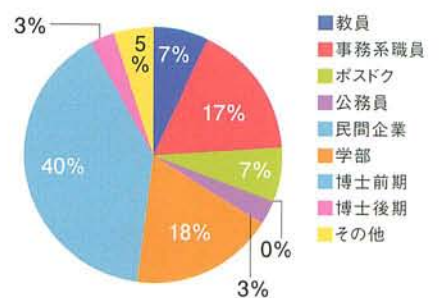
①性別



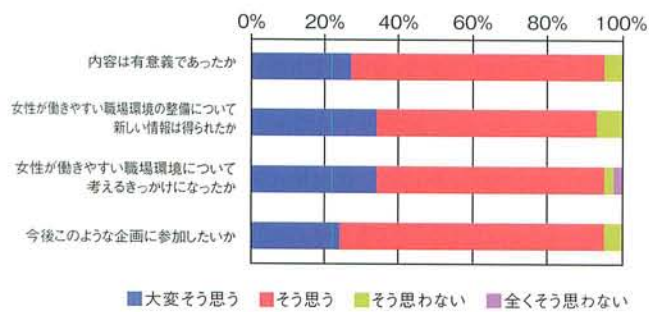
②年齢層



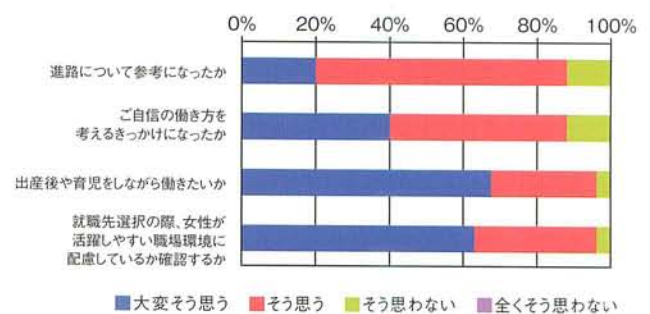
③所属等



2. シンポジウムの成果①



3. シンポジウムの成果②



取材

(北国新聞, 読売新聞)

12月1日に新聞の取材を受け、金沢大学の女性研究者や女子学生の実態やキャリアデザインラボラトリーで行っている女性研究者支援に関する内容を説明し、北国新聞(1月6日)と読売新聞(1月7日)に掲載されました。



女子学生の支援

理工系女子学生の交流会の開催

院生カリキュラム開発のための女子学生の意識調査を目的として、2011年12月7日(水)、大講義室Bにおいて理工系女子交流会を開催しました。参加した女子学生数は84名でした。



アンケート集計結果

アンケートは、交流会参加者全員にアンケート用紙を配布し、交流会中に記入してもらう形式で実施しました。このアンケートは、交流会に対する女子学生の評価、ならびに女子学生が大学院のカリキュラムに期待する内容を調査するためのものです。有効アンケート数:84件

(問1) 今回の女子交流会は楽しかったですか

とても楽しい	やや楽しい	どちらでもない	やや楽しくない	とても楽しくない
69%	31%	0%	0%	0%

(問2) 今回の女子交流会で用意されたお菓子、お茶はいかがでしたか

とても良い	やや良い	どちらでもない	やや良い	とても良い
74%	22%	4%	0%	0%

(問3) 今回の女子交流会でのグループワークはいかがでしたか

とても楽しい	やや楽しい	どちらでもない	やや楽しくない	とても楽しくない
70%	24%	6%	0%	0%

(問4) 今回の女子交流会ではどのようなことを期待していましたか

友達作り	情報交換	グループワーク	歓談	その他
21%	14%	60%	60%	60%

(問5) 今回の女子交流会は有意義でしたか

とても有意義	やや有意義	どちらでもない	やや有意義ではない	とても有意義ではない
55%	41%	2%	1%	0%



(問6、7) 貴女が理工系女性研究者・技術者としての将来を計画するにあたり、大学・大学院に期待する理工系女子学生、女子大学院生のためのカリキュラムや企画などをご記入ください

- 理工系女性研究者が働いている職場への見学を含めた課外授業
- 女性だからこそ活躍できる職場など
- 女性が働きやすい会社とは何かについて
- 理工系女性職員などとの交流会
- 今回のような企画を定期的開催する
- プレゼンテーション練習
- 理工系女性職員などによる講演会
- 女性研究者、OG、出産を経験された技術者として働いている方などの体験談
- 女性研究者、OG、理工系女性公務員、外国人の女性職員など
- 女子学生のための就活講座
- 女性の就職について教えてくれる

(問8) ご意見、ご感想などございましたらご記入ください

- 学年や研究分野の異なる人たちと一緒にだったので、研究や就活の話聞いてためになった
- 学部1年生からM2生までの人が集まったらいい
- 就活のときに「自然システム」の名の由来を必ず聞かれるので、もっとわかりやすいorちゃんとした由来の説明を考えてほしい
- もう少し開催時間が長いと良い ● 楽しかった、うれしかった ● お菓子がおいしかった ● 良い企画だった

問1、問2、問3および問5においてそれぞれに「とても楽しい」と「やや楽しい」を足し合わせると、その割合は90%を超えており、今回の理工系女子交流会は非常に好評であったことがわかりました。また、問4、問8から、女子学生が学年や研究分野の異なる学生間の交流を期待していることもわかりました。問6、問7から、女子学生は大学あるいは大学院に対して、主に、理工系女性職員の実際を知ること、またそのための一手法として一方向の講演会だけではなく双方向の交流会を期待していることがわかりました。

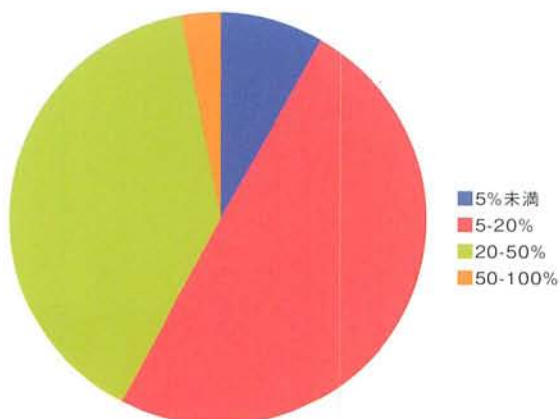
企業へのアンケート調査

企業の女子院生教育に対するニーズを探るためにアンケート調査を行いました。

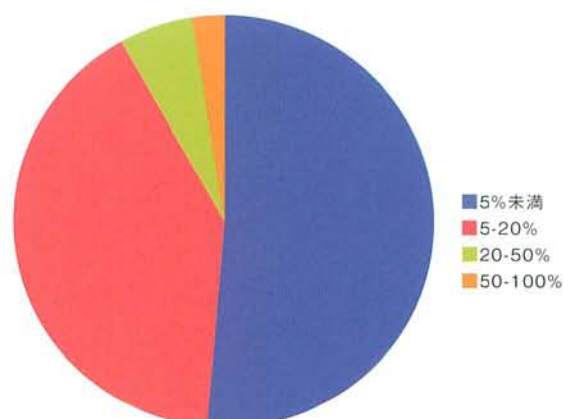
その結果企業ではたらく専門技術職の女性の割合は決して高くない(大半は20%未満,半数が5%未満)が評価は高く特にまじめさや家庭と仕事の両立に対するがんばりに一目おかれていることが分かります。

また採用に関してはコミュニケーション能力や、結婚後の仕事の継続が期待されており、大学院教育においてもそれに対応できるプログラムが期待されます。

働く女性の比率



専門技術職における女性の比率



人材サロンWIL

WIL便りの発行（2ヶ月に1回）

男女共同参画キャリアデザインラボラトリー
 WIL便り Vol.4
 ホームページアドレス <https://cdl.w3.kanazawa-u.ac.jp/index.html>
 ～2011-1-31～

男女共同参画キャリアデザインラボラトリーでは平成20年度から22年度にかけて、科学技術振興機構「女性研究者支援モデル育成」に採択され「やる気に応えます 金沢大学女性研究者支援」プロジェクトを進めてきました。女性が積極的に研究を継続し、成果を挙げ実力を発揮できるように、また次世代女性研究者を魅了し、真の男女共同参画が可能となるように、研究環境・制度の整備および啓発・広報活動を行っています。WIL便りではラボ活動の様子をご紹介します。

～ contents ～

- 01 第4回金沢大学女性研究者支援シンポジウムを開催しました。
- 02 学内の男女共同参画に関する取組みが新聞で取り上げられました。
- 03 大分大学男女共同参画公開講座に参加しました。
- 04 2月20日（月） WIL cafe を開催します☆

01 第4回金沢大学女性研究者支援シンポジウムを開催しました。

「女性の活躍を支える企業と大学」をテーマとして、第4回女性研究者支援シンポジウムを開催しました。
 株式会社東芝人事情報センター主催の水上 朋子様には「東芝のダイバーシティ推進」について、株式会社PFI 人事部採用センター長の山本 佳伸様には「女性がいきいきと働くためにPFIの取組み」について、ご講演をいただきました。また、金沢大学 総務部 人事課 薄井課長には「金沢大学における男女共同参画への取組みについて」ご紹介いただきました。

市内外からの約50名の参加者によって、女性が出産、育児、介護と仕事が両立できるような職場の環境づくりについて、また、女子学生には自分自身の働き方について考える機会となりました。

WILミーティング・WILcafeの開催

キャリアデザインラボラトリーでは、毎月第1月曜日にWILミーティングを、第3月曜日にWILcafeを開催しています。WILミーティングでは、ラボラトリーの事業に関することを主にラボラトリー教員で協議し、WILcafeでは、お昼ご飯を食べながら、ジェンダーをテーマとするビデオの鑑賞や情報交換ををしています。



ホームページ公開

The screenshot shows the homepage of the Kanazawa University Career Design Laboratory. At the top, there are navigation links for HOME, Site Map, and Contact Us. Below that, the main header includes the university name and the laboratory's name. A menu bar lists various sections: Project Overview, Female Researcher Support, Exchange Activities, Career Salon WIL, and Research Results. The main content area features a large graphic with the text 'Kanazawa University Career Design Laboratory' and 'CAREER DESIGN'. Below this, there is a 'お知らせ・トピックス' (Notice/Topics) section with a list of recent events and news items, including dates and titles like '2012.02.13 研究パートナー制度 募集' and '2011.12.22 成果報告 第4回金沢大学女性研究者支援シンポジウム'. On the right side, there is a 'ラボ職員からのメッセージ' (Message from Lab Staff) section with a photo of a staff member and the WIL logo.

関連書籍の充実と貸出

ラボでは図書の貸し出しを行っています。

キャリア形成や理系研究者に関する図書のほか、小説やエッセイなど様々な分野を図書を揃えています。

分野と書籍数は下記の通り。

DVD, VHS, CD-R 72 / キャリア 49 / コミュニケーション 24 / 雑誌 21 / ジェンダー・女性 117 / 出産・育児 39 / 小説・エッセイ 39 / 女性科学者 43 / 文庫本・新書 76 / ヘルスケア 3 / 理系 24



主な書籍一覧

分類	書籍名	著者・監修者	出版年	出版社
DVD	きかんしゃトーマス みんなあつまれしゅっぱつしんこう		2008	ポニーキャニオン
DVD	モンスタースタインク		2001	ブエナビスタホーム
DVD	NHKスペシャル 女と男DVD-BOX		2009	NHKエンタープライズ
DVD	フラガール		2006	ハビネット・ピクチャーズ
DVD	プロフェッショナル 仕事の流儀 WHO医師進藤奈都子の仕事 鳥インフルエンザを封じ込める[DVD]		2006	日本放送出版協会
DVD	Women Pioneers—女性先駆者たち①～⑩			(財)大阪府男女共同参画推進財団
VHS	21世紀の女性と仕事('06) ①～⑯	大沢真知子、原田順子	2006	放送大学教育振興会
キャリア	成功する女性の教科書	キャシー・ブラック	2008	早川書房
キャリア	凛とした「女性の基礎力」	坂東 眞理子	2008	暮しの手帖社
キャリア	デキる女には「ウラ」がある	柏木 理佳	2009	あさ出版
キャリア	白石真澄流すっぴんお仕事術	白石 真澄	2008	明治書院
キャリア	グローバルキャリア—ユニークな自分のみつけ方	石倉洋子	2011	東洋経済新報社
キャリア	職場のワーク・ライフ・バランス	佐藤 博樹	2010	日経文庫
コミュニケーション	セルフアサーショントレーニング エクササイズ集		2008	東京図書
コミュニケーション	アサーティブ「自己主張」の技術	大串 亜由美	2007	PHP研究所
コミュニケーション	「女ことば」はつくられる	中村 桃子	2007	ひつじ書房
コミュニケーション	自分の気持ちスッキリ伝えるレッスン帳—カンタン!アサーティブBook		2008	すばる舎
コミュニケーション	アサーショントレーニング—自分も相手も大切に自己表現	平木 典子	2008	至文堂
雑誌	人生を変える☆時間管理術		2009	日経BP社
ジェンダー・女性	なぜ女は昇進を拒むのか—進化心理学が解く性差のパラドクス	スーザン・ピンカー、幾島幸子、古賀祥子	2009	早川書房
ジェンダー・女性	女性学入門—ジェンダーで社会と人生を考える	杉本貴代栄	2010	ミネルヴァ書房
ジェンダー・女性	女性を活用する国、しない国	竹信三恵子	2010	岩波書店
ジェンダー・女性	現代の高校生は何を考えているか—意識調査の計量分析をととして	友枝敏雄	2009	世界思想社
ジェンダー・女性	学校教育の中のジェンダー—子どもと教師の調査から	直井道子、村松泰子	2009	日本評論社
ジェンダー・女性	男女共同参画統計データブック2009—日本の女性と男性	国立女性教育会館	2009	ぎょうせい
ジェンダー・女性	女ざらい—ニッポンのミソジニー	上野 千鶴子	2010	紀伊國屋書店
ジェンダー・女性	大人になる前のジェンダー論	浅野富美枝、池谷壽夫、細谷実、八幡悦子	2010	はるか書房
出産・育児	働くママに効く心のビタミン	上田理恵子	2009	日経BP社
出産・育児	育児不安の国際比較 [単行本] 深谷昌志(編集)	深谷昌志	2008	学文社
出産・育児	男の育児・女の育児—家族社会学からのアプローチ	大和礼子、木脇奈智子、岸出節子	2008	昭和堂
出産・育児	男性の育児休業—社員のニーズ、会社のメリット	佐藤 博樹、武石 恵美子	2004	中公新書
出産・育児	イクメンで行こう!—育児も仕事も充実させる生き方	渥美由喜	2010	日本経済新聞出版社
出産・育児	近代家族の曲がり角	落合恵美子	2000	角川書店
出産・育児	現代女性の労働・結婚・子育て—少子化時代の女性活用政策	橋本俊昭	2005	ミネルヴァ書房
小説・エッセイ	森に眠る魚	角田 光代	2008	双葉社
小説・エッセイ	東京島	桐野 夏生	2008	新潮社
小説・エッセイ	私の男	桜庭 一樹	2007	文藝春秋
小説・エッセイ	大奥 第1～5巻	よしなが ふみ	2005	白泉社
小説・エッセイ	ラン	森 絵都	2008	理論社
小説・エッセイ	アカベラ	山本 文緒	2008	新潮社
小説・エッセイ	沖で待つ	絲山 秋子	2006	文藝春秋
女性科学者	すべてのいのちが愛おしい—生命科学者から孫へのメッセージ	柳澤 桂子	2007	集英社
女性科学者	素敵にサイエンス企業—女性のための理系進路選択 かがやき続ける女性キャリアを目指して	中村立子	2008	近代科学社
女性科学者	光できらめく理系女性たち—理想のワークライフバランスを目指して	小館香椎子	2007	オプトロニクス社
女性科学者	女性研究者のエンパワーメント	伊藤 セツ	2008	ドメス出版
女性科学者	科学を選んだ女性たち	W.A. Spinks	2008	オーム社

〈おわりに〉

これらの事業の他、昨年度まで支援を受けていた文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業の最終評価として、11月に学長、ラボラトリー長などでヒアリングを受けA評価をいただきました。また、学内の男女共同参画推進委員会と連携し、女性教員の現状分析や採用に向けた取り組みについて協議を行っています。今後とも、全学の男女共同参画の取り組みを積極的に実施していきたいと考えています。みなさまのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



金沢大学 男女共同参画キャリアデザインラボラトリー

〒920-1192 金沢市角間町 Tel:076-234-6907 Fax:076-234-6908
E-mail:cd_lab@adm.kanazawa-u.ac.jp URL:<http://cdl.w3.kanazawa-u.ac.jp>

